

中部部報 第3号

2016. 7. 1～2017. 6. 30

主 題

国 際 会 長 私たちの未来は、今日から始まる。

ア ジ ア 会 長 ワイズ運動を尊重しよう。

西日本区理事 ワイズ魂で更なるワイズの活性化を！

中 部 部 長 出会い、ふれあい、響き合い、前へ進もう

1 年間ありがとうございました。

2016－2017 中部部長

川口恵（名古屋クラブ）



中部の皆様、そして西日本区
の皆様、1年間中部の活動をお
支えいただきましてありがと
うございました。

ワイズの楽しさは、ワイズ活動を通して、多く
の人や新しい出来事に会い、共に活動すること
で楽しみを分かち合うことです。私は楽しみなが
ら、研鑽を積み、前へ進みたいと考え、主題を「出
会い、ふれあい、響きあい、前を進もう」、副題を
「ワイズライフを楽しもう」としました。中部で
は、各地域で特性を活かしたクラブ活動がされて
おり、岩本理事副題である「定例会の充実」も、
各クラブで趣向を凝らした、楽しい例会が開催さ
れました。

中部部会は、元 NGO 大使の五月女光弘氏によ
り「国際協力の意義」について基調講演いただき、
私たちの活動の意義を再確認できたと思います。

各事業別では、Yサ・ユース事業では、YYY フ
ォーラムは、講師を迎えて特にユースリーダーに
心に残る話をきいていただき、そのあと YYY(ユ
ース、ワイズ、YMCA スタッフ)で話し合う機会
を持ちたいと計画しましたが、最終的に YMCA
との調整がつかず開催できなかった事は残念で
す。代わりに、名古屋地区合同クリスマス例会を
開催し、堤Yサ・ユース事業主任も迎えて、ユ
ース・ワイズの活動を紹介して YYY の交流の時を
持ちました。

地域奉仕・環境事業は、南山農園、もちつき、
コンサートなど各クラブで地域に根付いた事業
を実施しており、グランパスクラブ主催の東北復
興支援ツアーは5年目です。

EMC 事業は山藤主任を迎えて EMC シンポジ
ウムを開催。中部では当期の新メンバーは金沢ク
ラブ1名のみでメンバー増強(M)が課題ですが、
魅力あるクラブ活動により C(維持啓発)はされ
ており、新クラブの設立(E)も目指しています。

国際・交流事業は、台湾での国際大会、部会、合同例会、IBC,DBC 交流会、東山荘で第 2 回東西交流会など、積極的な交流が行われました。国際大会では、南山クラブの IBC 交流会に他クラブメンバーも参加させていただき交流を楽しみました。

メネット事業では、①中部部会のメネットアワーにメンや他の部のメンバーも出席、中部で唯一フリースクールのある富山 YMCA のフリースクールを訪問しました。富山 YMCA はユースリーダーも多く、今後、富山 YMCA とともにワイズの交流・プログラムへの参加・支援を検討していけたらよいと考えます。

1 年間、貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。

ああ終わった!?

でも、終わらない!!

書記：谷川 修（名古屋）

川口部長期を無事!? 終えることができたかな。思いかえすと、同じ桑名に住む川口部長と喫茶店で落ち合い、書記としての働きを請われ、打ち合わせをしたのが 1 年半前になるだろうか。きちんと勤まるのか、多少の不安もあったが、深く考えずに部長からの要請に応えて任務をこなすというタイプの書記であったように思う。部長も、そして多くのワイズメンが私に対してはもっと率先したはたらきを期待していたのだと思うと、何とも申し訳のない書記であったと、多少の反省を含めて思う。でも、とにかく中部の書記職は終わったのだ。ただ、ワイズメンズクラブは続く、その意味では終わらない。終わりのない旅を今度はクラブ会長として歩むこととなる。中

部の書記役が これからの歩みに役に立つことを祈るばかりである。



次期中部部長としての

1 年をふりかえって

もう一昨年になりましたが、金沢クラブから中部部長を選出しなければならないということで、人選が始まりました。年齢、それに伴う健康問題、仕事上の問題、家庭の事情など、一人ひとりに理由があって「私が引き受けましょう」という人がおりませんでした。話し合っているうちに「今回は辞退しよう」という空気が濃厚になったのです。それまで口をはさむことなく皆さんの話し合いを聞いていた私ですが、「辞退」という雰囲気になってきたことに我慢できず、「金沢クラブのメンバー数の半分しかないクラブでも、部長を輩出し責任を果たしているではないか。創立 70 周年を迎えようという金沢クラブが部長も引き受けられないというのは恥ではないか」と強く主張したところ、「ではお前がやれ。みんなで協力するから」と推され、大役を引き受けてしまいました。メネットとしては 30 数年ワイズライフをおおいに楽しませていただいた経験はあり、その間メネット主査を 2 回務めさせていただきましたが、3 年前、夫の召天後メンとして活動の仲間に入れて頂いたばかりで会長経験もない私でしたが、かつてクラブの役員や部長として豊かな経験をもつ先輩の方々の援助を頼りに 1 年を歩んできました。

次期部長としての仕事は 6 月中部評議会への参加から始まりました。その後毎月送られてくる川口部長の部長通信に圧倒されました。各クラブ訪問、西日本区の各部会訪問をはじめ、各クラブの活動状況が逐一報告されていました。

10 月には西日本区次期役員研修会が大阪で開

かれ、知人のいないワイズ活動にたった一人での心細い参加でした。しかしその日のうちに温かく仲間に入れていただくことができ、「これこそワイズだ」とうれしくなったのを覚えています。



その後、部報、区報の原稿依頼があり、文才のない私には重荷でした。また年末には、次期中部役員名簿を報告しなければならなかったのですが、陸の孤島のごとき金沢で愛知、三重の各クラブの次期役員さんの氏名、メールアドレス、携帯番号、自宅及び勤務先の電話・ファックス番号などロースターには載せておられない個人情報を集めるのは大変でした。連絡がつかなかったり、締切日を過ぎても通知がないなど、フルタイムの仕事を持ちながらでは、なかなかはかどりませんでした。3月の次期会長・主査研修会も仕事の関係で参加する事はできず、多くの方々に迷惑をかけてしまいました。

しかし、西日本区大会ではこの1年間に与えられた知人・友人たちに助けられ、本当に楽しい時間を過ごすことができ、次期の活動への意欲をかきたてられたのです。微力ですが頑張りますので、よろしくお願いいたします。



2016-2017 期 を 終えるにあたって

監事;長谷川和宏(名古屋東海)

「一つ一つの行事や活動を実直に展開され、結果として実績・成果を上げ、何よりもYMCAに貢献がなされるように見守っていきたい」との気持ちでスタートして1年。

一部計画取り止めもあったものの、全体としては、川口中部部長を先頭に、多彩な事業活動を、多くの力を結集して盛大になされてきたのが素晴らしい。富山YMCA訪問とフリースクール研修や名古屋地区合同クリスマス企画の成功など積極的な展開は今後に示唆を与える企画でした。

EMC、Yサ・ユース、地域奉仕・環境、国際・交流、メネットの各事業間に見られた進捗のバラツキも各クラブ間協調の難しさであったり、また部としての予算的制約が大きいのも影響していました。YYYフォーラムが計画段階で情報共有ができず、うまく展開できなかったのは残念でした。

そういった意味では使える予算の拡充と会員増強、EMCが中部にとってとても大きな課題となった年度でした。

情報の内外発信が重要になっている一方で、人材養成の遅れが懸案のまま残ってしまいました。また、YMCAボランティアセンターの担当スタッフとの、意思疎通を図っておくことが、ますます大切になってきています。

YMCAを今よりも、もっともっと力強く、多くサポートすることによってワイズメンズクラブ自身も力を付けることができると思います。

財政面では、限られた予算をうまく切り盛りして諸活動を展開してきた今期中部キャビネットの努力をたたえ、感謝したいと思います。前期以上の厳しい予算を堅実に計画的に運用し、次期

2017-2018 年中部へ確実な余剰金を確保していた
だいたことを報告させていただきます。

この 1 年間、一人一人のワイズメンと各クラブ
そして中部の発展のために時間を割き、知恵を出
し、奮闘してくださった川口中部部長と中部キャ
ビネット、役員の皆さまに心からお礼をいいたい。
なお、部財政における年度決算と、監査結果は次
期の評議会での承認を受けて公表されることの
ことです。



YMCA サービス・ユース事 業（下半期の活動）

YMCA サービス・ユース

事業主査

山田 英次(名古屋東海)

ワイズメンズクラブの大きな目的の一つは「奉
仕活動を通じて YMCA の活動を支援する」こと
にあります。ワイズメンは YMCA の会員であり、
ワイズメンズクラブが YMCA の活動の一翼を担
っています。YMCA サービス・ユース事業はこの
意味でワイズメンとしてとても大切な活動であ
ります。地域への奉仕活動と青少年指導者の育成
こそ YMCA、ワイズメンズクラブが取り組むべ
き活動であると思います。

前半に計画した YY フォーラムは結局実施でき
ず、それに代わるものとして名古屋地区の 4 クラ
ブ合同クリスマス祝会にユースリーダーを招待
し、ワイズメンとの交流の機会としました。中部
は名古屋と金沢、三重と地域が離れており、また、
金沢・三重はスタッフのいない YMCA であり、
ユースリーダーも金沢 YMCA にやっと誕生した
という現状であり、YY フォーラム実施は、かな
り困難な状況であることは否めないことです。

＜当初計画した YY フォーラムは大阪高槻クラ
ブの森本榮三ワイズを招き、マザーテレサの「無

償の愛と奉仕」についてワイズメン、ユースリー
ダーと共に学ぶ予定でした。＞

次期の小林滋記主査、ワイズとユースの交流と
相互理解が進むよい計画、事業展開を是非とも宜
しくをお願いします。

11 月から下半期の Y サ事業の主な活動を報告
します。(中部ホームページもご覧下さい)

◎名古屋地区

名古屋地区 4 クラブは名古屋 YMCA チャリテ
ィーランに協賛、チームまたはチームスポンサ
ーとして参加、飲み物やみたらし団子などを提
供 (11 月)

名古屋 YMCA 「平和の使者クリスマスカード
コンテスト」に東海クラブは協賛、審査・展示・
表彰 (東海クラブ賞) の支援をした。(12 月)
また、国際協力街頭募金、クリスマスキャロル
(12 月) に 4 クラブが協力した。3 月にはチ
ャリティーウォーク、リーダー感謝会に協力、
4 月にはグランパス、南山クラブが「神沢
YMCA 気楽に楽しむクラシックコンサート」
の後援をした。5 月、YMCA リーダートレーニ
ング (日和田キャンプ場) にグランパスクラブ
は初日の夕食(バーベキュー料理)をふるまい激
励した。

6 月、国際協力街頭募金を名駅前 (名鉄百貨店
前) と栄 (ラシック前) で行った。

◎金沢地区

金沢クラブと金沢犀川クラブは、金沢 YMCA
プログラムの企画立案に協力、実施した。

金沢 YMCA 会員フォーラム、「ながまちふれあ
いフェスティバル」(11 月) に参加。

金沢犀川クラブの「わいわい農園」の収穫 (12
月)、2 クラブ合同のクリスマス祝会にユース
リーダーを招待 (12 月)、ユニセフ街頭募金に
参加 (12 月)。

4 月には金沢 YMCA たけのこ掘りプログラム
を実施した。

◎三重地区

四日市クラブ、津クラブともにメンバーの減少とスタッフ・リーダー不在の中、結束して三重YMCA 幼児園や福祉会の行事に協力した。
YMCA バザー&ようじえんまつり（5月）



中部・地域奉仕・環境事業 （後期分）報告

地域奉仕・環境事業主査
薦田正男（津）

中部各クラブの後期（1月～6月）の活動について報告します。

◎ 津クラブ 1月14日（土） 特別養護老人ホームマツテヤ心豊苑 新年餅つき大会開催
津クラブの継続事業として取り組んでいる。力仕事は施設の若いスタッフにお願いし。搗きあがった餅をきな粉、あんこ、大根おろし、菜のお浸しをまぶし配膳の準備の手伝いをしました、施設入居者、スタッフ、隣接の子供の家の子供たち総勢140食分を用意しました。毎年のことなので入居者の希望で餅つきを体験していただくこともあります。来年もお願いしますといわれ。待ってもらっているのだと思い継続していく決意をしています。



◎東海クラブ 3月11日 東日本大震災支援チャリティウオーク 風化させないの思いを込めて

“今なお、福島第一原発事故と地震津波被災のため避難生活を余儀なくされている多くの被災者がおられることを決して忘れない”を合言葉にチャリティウオークを開催しました。ワイズメン、

インターアクト高校生らが一緒になって、市内に設定された杉原千畝「人道の道」役5キロを歩きました。24名の参加がありました。

午後からは「東日本大震災犠牲者追悼式」に参加し祈りをささげてきました。



◎ グランパスクラブ 4月1日神沢保育園 第3回気楽に楽しむクラシック名曲コンサートを開催

4月8日（土）～10日（月）東日本復興支援ツアー 訪問地 宮城県仙台市・東松島市・石巻市・女川町 参加者 グランパス8名 名古屋2名 京都東陵 3名 鳥取 1名 姫路グローバル 3名

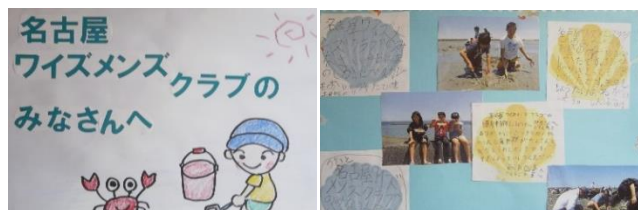


5度目の訪問となった今期は西日本区にも呼びかけ、4クラブからの参加がありました。支援ツアーの中で重要視したのは「語り部」とよばれる、被災地の様子を伝え語ってくれる方々からの話を聞くことでした。

現地の方たちのご協力をいただき実りあるツアーとなりました。

◎ 名古屋クラブ 5月28日（日）招待プログラム 名古屋市児童養護施設「南山寮」の園児・スタッフ13名

南知多町豊丘「乙方海岸」潮干狩りを楽しみました。昼にはカレーライスを海岸で作り提供されました。乙方海岸漁業組合のご協力で入漁費を値引きしていただきました。名古屋クラブからは5名が参加。



各クラブの皆さんはそれぞれ継続した取り組みをしておられ、ワイズの奉仕は宝物だと感じました。



任期を終えるにあたって

直前部長(EMC 主査代行)

荒川 恭次

(名古屋グランパス)

まずもって川口中部部長キャビネットが無事任期を満了されたことに感謝申し上げます。そして、あっという間の一年でしたが、反省と希望を込めて一言振り返りたいと思います。

直前部長としては、自分の任期中は何事も手さぐり状態で右往左往した苦い経験がありました。だから川口部長には少しでもサポートできればと余分な口出しもしたかと思いますが、川口部長は各方面の行事には積極的に参加されて情報収集に励まれ、毎月発行の部長通信での広報で、中部のワイズメンに多くの情報を提供されました。会員増強の課題はあるものの、第3回評議会から次年度第1回評議会が無事次期山内部長にバトンが渡り、内心ホッとしている次第です。キャビネットの皆様も大変お疲れ様でした。

EMC主査としては、この一年諸事情による代

行任務でしたが、西日本区EMC事業主任との連携で、ルーティンワークとして隔月に中部各クラブの現況を西日本区に報告しました。また、EMCシンポジウムでは中部の現状と他部の状況を山藤EMC事業主任よりお聞きし、今後のメンバー増員について参加者とも話し合いましたが、具体的な増員計画への取り組みには繋がりませんでした。しかしここに来て中部の現状はもっと深刻化してきており、今後の真剣な取り組みが急務となってきています。

ホームページ委員会は、組織としては機能していませんが、中部ホームページの維持管理を主な業務としており、毎月の各クラブブリテンの掲載、各ワイズ等からの情報を掲載することで中部広報の窓口としての機能は果たしてきました。しかし、今後は広報の手段がSNS等に発展し、ホームページだけではないことから、第3回中部評議会で「情報委員会」への改名をご承認いただき、将来を見据えて広報ツールを広く扱える体制となりました。次年度からは各クラブ選出の情報委員各位と中部広報について広く取り組んでいきたいと思います。

さて、今年度西日本区では第1回役員会で「ワイズ将来構想特別委員会」が設置承認され、第2回役員会で具体的な①委員会設置趣意書 ②委員会規則 ③委員会構成が承認されました。

これは東西日本区の各クラブで、会員の高齢化等による会員数減が益々進行するのに歯止めをかけ、健全なワイズメンズ活動を維持・展開することを目的に設置されました。本委員会の任期は単年度活動ではなく長期計画達成として、国際ワイズが100周年、西日本区が25周年の記念を迎える2022年度を目標としております。縁あって私もその委員会の一員となりました。中部の皆さんには、揃って西日本区ワイズ復興発展運動に熱意と勇気を発揮して、ご協力下さることを心より

お願いする次第であります。

ワイズ将来構想特別委員会規則第2条の「目的」には、「1997年西日本区発足以来、20年にわたる会員減少と高齢化による衰退傾向に歯止めをかけ、発足時のワイズ力を取り戻し、更なる発展に向かつての将来構想の策定と実現を目指す活動を行う。」とあります。将来の中部のワイズメンのために、新クラブの設立(Extension)と新会員増員と意識高揚(Membership & Conservation)を大きく意識して、名古屋・三重・北陸一丸となって活気ある中部を取り戻しませんか。



1年を振り返って (各クラブ・活動報告)

都筑 正和
(名古屋南山)

IBC

第72回ワイズメンズクラブ国際大会 2016年8月3日(水)～8月7日(日) IN 台湾
2016年8月5日名古屋南山クラブ・台湾バータークラブ・韓国サーインチョンクラブ
トライアングル交流会

DBC

2016年10月15日(土)～16日(日)名古屋
グランパスクラブ・京都東陵クラブ交流会
(於：犬山)

2016年11月19日(土)～20日(日)名古屋
東海クラブ・奈良クラブ・御殿場クラブ
トライアングル交流会(於：奈良)

2017年2月4日(土)～5(火)東西ワイズ交流会(於：東山荘)

金沢・金沢犀川・名古屋・東海・グランパス各
クラブ参加

2017年4月8日(土)～9日(日)金沢クラブ・滋賀蒲生野クラブ交流会(於：栗東)

2017年5月13日(土)～14日(日)金沢クラブ・仙台広瀬川クラブ交流会(於：金沢)

2017年5月13日(土)～14日(日)名古屋
クラブ・和歌山紀ノ川クラブ・熱海グローリー
クラブトライアングル交流会(於：和歌山)

IBC プログラムはハードでタフさが必要なプログラムであることを、主査を引き受けた時に記しました。本年は国際大会が台湾であり、中部からも多くのメンバーが参加、厳粛なプログラム、華やかなパフォーマンス、楽しいツアー、そして美味しい食事とそれぞれ交流を深め、愉しんだことと思います。

2017年7月21日(金)～23日(日)第27回アジア・パシフィック地域大会がタイ・チェンマイで、2018年国際大会が韓国で開かれます。是非参加していただければと思います。

DBC プログラムは各クラブとも積極的に取り組んでいただき感心していると同時に、DBC 締結をしていない南山クラブメンバーとして羨ましい限りです。

最後に反省として東海クラブ・奈良クラブ・御殿場クラブの交流会には参加させて頂いたものの、他クラブのDBC 交流会に参加できなかった事と「東西ワイズ交流会」に参加できなかったことが非常に残念でした。



よく学び、よく遊んだ 金沢ワイズメンズクラブ 2016-2017

会長 西 信之
(金沢)

金沢クラブでは、第1例会に講師を招いて様々なテーマのお話を聞いて学んでいる。代表的な例を上げると7月例会では、横浜こぼれ話 ―ヘボンとプロテスタント史から―という題で、この4月から会員になられた山本浩一郎氏から、トマス・ウイン宣教師がヘボンの紹介で石川県中教師

範学校教師職に就き 1881 年の金沢教会設立に始まる北陸伝道開始のエピソードなどを伺った。9 月には、フラワー装飾技能 1 級(国家資格)の中村恵子さんを講師として迎え、ワイングラスに各自の生け花アレンジ実習を楽しんだ。11 月例会では、金沢市中央市場事務局次長の山田 裕氏から、金沢市の台所である中央卸売市場の役割等について、1 月例会では、金沢市リクレーション協会理事長の泉 秀夫氏よりリクレーションによる健康な精神を保ち長生きする極意について伺った。2 月には金沢 21 世紀美術館学芸員の高橋律子氏より竹下夢二とキリスト教の関わりについて学び、5 月のメネット会では湯涌の夢二が泊まったという山下旅館に泊まり、近くの夢二館を見学して実際に夢二のキリスト教の歩みを実感した。幸い、夢二に繋がる「美人画展」も感賞できた。4 月の DMC 滋賀蒲生野クラブとの交流会では、奈良時代に創建の山深い霧中の金勝寺境内の多くの伽藍やその中の仏像の名作を鑑賞し、これまた山の中の巨大地下施設「MIHO Musium」に圧倒された。江戸時代の薩摩切り子ガラス作品の数々や紀元前 13 世紀の黄金と鮮やかな色彩が施された隼頭神像やギリシャ彫刻の影響を受けた 2 世紀のガンダーラ仏立像には、時空を超えた美術品のすばらしさを教えられた。



一方、遊んだ記憶は鮮烈であった。8 月の羽咋幸正邸での熱々の鰻の蒲焼きと幸正さんご自慢の料理の数々を堪能し、10 月の芋煮会、11 月のカラオケ大会、12 月のクリスマス例会、1 月の朝倉邸での時期遅れのボジョレーを楽しむ会、5 月の DBC 仙台清瀬川クラブとの能登や金

沢での交流会、前述の湯涌温泉お宿「旧山下旅館」でのカラオケや日本酒・ワインの飲み会など、メネット会の主導でこのような楽しい会が持てたのは、感謝、感謝である。



名古屋クラブの危機的

状況を救うのは誰だ

会長 河部 薫
(名古屋)

「人生は一瞬、やり直しはできないけど、出直しはできる。」目標を高く掲げ信念をもって知恵を絞り、工夫を凝らし行動する者だけがその地点に到達できる。

今年、創立 70 周年を迎える名古屋クラブは同程度の歴史をもつ他クラブと同じように、高齢化に伴う活動の縮小化が問題となっています。

クラブの今があるのも因果応報、すべてメンバーひとり一人、自己責任の期するところであると思います。新入会員を増やそうとそれぞれに努力されてきたと思いますが残念なことに「結果」が出ていません。そういう意味で衰退の原因を作ってきたのもクラブ員一人ひとりであります。今からでも遅くありません。袖触れ合うも多生の縁、仕事仲間、趣味の仲間、色々なチャンネルの人間関係にある人に声掛け、プライドと喜びをもって接触し、一人、またひとりと新入会員を獲得しよう努力しましょう。(ブリテン 6 月号より抜粋)



東海クラブの

1 年を振り返って

会長 浅野 猛雄

(名古屋東海)

東海クラブ今年最大の行事と言えば、やはり

5月14日の創立50周年記念例会を挙げなければなりません。当日は岩本西日本区理事、大野次期理事、遠藤直前理事の他、DBCクラブの奈良、御殿場クラブをはじめ中部の全クラブと、以前東海クラブや他クラブのメンバーだった人を含め20クラブから105名の方に出席頂きました、ご参加下さいました皆様に改めて感謝申し上げます。

第一部の記念式典では、50周年記念事業としてYMCAにプロジェクターを2台寄贈し目録を贈呈致しました。次いで私がチャーターメンバーにお礼の言葉を述べ、チャーターメンバーを代表し野村秋博ワイズよりチャーター時のエピソード等のメッセージを頂きました、記念講演は熊本YMCAの岡 成也総主事に「熊本地震！その時、YMCAは？」と題してお願いし、地震発生時のYMCAのスタッフが取った行動やメールのやりとり等がスライドで写され、その後のワイズメンズクラブのバックアップ、さらに、各YMCAが行なった救援活動が報告をされました。

第2部の懇親会ではチャーター時のスポンサークラブの名古屋クラブの会長であった尾関明氏より設立時の苦労とエピソードなどを話していただきました。お食事には満足を取れたでしょうか？

今年度の私の会長主題は『而今 ただ、今を精一杯生きる』とし具体的な目標は

- ① 出席率90%以上を目標とする。
- ② 第2例会も積極的に参加を呼び掛ける。

と致しました。

出席率に関しましては、7月こそ88.2%でしたが、他の月は100%が7回有り、それ以外の4ヶ月は94.1%でした。一番出席率が低いと思われた2月でもメイクアップが3名有り94.1%でした。又、第2例会も毎月メンバーの半数以上が出席し、終了後は池下の居酒屋で二次会を行なっています、最近では二次会を楽しみに出

席者も増え、尚且つ、親睦の機会も増えつつあります。日本区で初めて開催されたEMCシンポジウムで、講師の小堀憲助先生は奉仕クラブに於ける親睦の大切さを話されました。この二次会での親睦の結果がクラブ会員数の増加に繋がればと思っています。

西日本区大会のバナーセレモニーでは、次期会長の長谷川君の思いも込め2022年までにメンバー数倍増を目指す事を宣言致します。



楽しい一年でした

会長 杉山 弘時
(名古屋南山)

2020年の設立50周年を目前にし、今年は9名のメンバー、年何回かゲストとして参加してくれる南山ワイズのサポーターと一緒に楽しい集いを重ねようと、以下の3点を意識して活動してきました。

- 1. 楽しい例会作り
- 2. 合同例会の開催
- 3. ワイズ農場の整備

振り返ってみると残念ながら新入会員を迎えることはできませんでしたが、出席率は今年も100%を維持できました。月次例会ではクリスマスを含め3回を合同例会とし、場所も秋・春にはワイズ農場での例会と、多少は新たな展開ができたと思います。ワイズ農場においては6月に野外活動グループの子どもたちにタマネギの収穫と野外料理を経験してもらうことができ、秋のイモホリのように今後子どもたちの野外活動の場として定着できればと思います。下期の主な活動は以下のとおりです。

第一例会

- 1月 12日 新年会
2月 9日 明日のワイズを考える パート1
3月 14日 グランパスとの合同例会
「小学校の子供たちの困難さ
・学校から見える家庭」
4月 13日 お花見例会
5月 7日 ワイズ農場例会
6月 8日 明日のワイズを考える パート2

その他の参加行事

- 3月 2日 卒業リーダー感謝会
3月 11日 第5回チャリティーウォーク
4月 1日 かみさわ保育園コンサート
5月 14日 東海クラブ 50周年記念例会
6月 18日 国際協力街頭募金

南山ワイズ農場関係

- 5月 28日 イモ苗植え付け
6月 4日 刈谷野外中学生G
6月 11日 刈谷野外高学年G
6月 18日 刈谷野外低学年G



津クラブ活動報告

会長 亀野
(津)

6月 11日 中部評議会 名古屋 YMCA
(2015～2016) 期総括、(2016～2017) 期方針
7月 13日 7月例会 アスト津 (2015～2016)
事業会計報告、(2016～2017) 事業計画
ファンド事業 (ジャガイモ) 計画策定
8月 6日 8月例会 亀山コメダ 職場訪問
(その2 8月 10日 津めんや)
8月 28日 中部部会 名鉄ニューグランドホ
テル 講演・国際協力の意義：五月女光弘氏
メネットアワー・フリースクール箱崎：小田
哲也氏

- 9月 14日 9月例会 アスト津 ファンド事業、
ジャガイモ搬送宅配タイムスケジュール打ち
合わせ
10月 4日 三重 YMCA 幼児園運動会 四日市
緑地公園体育館
10月 5日 ファンド事業ジャガイモ搬送宅配
10月 12日 10月例会 ファンド事業総括
10月 15日 南山農場オープンプログラム
11月 26日 中部評議会(第2回) 名古屋 YMCA
前期総括・後期予定
1月 14日 1月例会 心豊苑 新年もちつき大会
2月 8日 2月例会 コメダ津北 例会開催日の
変更、西日本大会出欠確認
3月 8日 3月例会 津アスト 三重 YMCA の
動き等情報交換
4月 8日 4月例会 偕楽公園 花見
5月 13日 5月例会 アスト津
6月 29日 6月例会 コメダ津北 西日本大会
報告、年度会計監査、中部部会対応
- ## 総括

4名のメンバーでの活動ということで、数多くの活動は困難であった。主たる活動として、ファンド事業ジャガイモ販売および障害者施設での恒例事業である新年もちつき大会を実施することができた。いずれも肉体を基本とする活動であり、老人パワーをぎりぎりに燃やし、無事に終了させることが出来た。今後も続けていけそうな活動は大切に育て上げていきたい。



有終の美を期して

会長 平口 哲夫
(金沢犀川)

前期の活動については部報第2号で記したの

で、まずは後期の活動について報告したうえで、1年間の活動を省み、次期に向けての抱負を述べることにしたい。

【第一例会】

1月26日(木):卓話「禁煙運動について」福田太睦氏(NPO 禁煙ネット石川 理事・事務局長)、金沢都ホテルにて。

2月11日(土・祝)～12日(日):新春特別例会、“一軒家の赤穂谷温泉”(小松市中海町)にて、卓話「秋のカタ旅行の体験談」平口哲夫氏、長浜クラブから中川和彦会長と間塚徳彦地域奉仕・環境委員長、当クラブ元会員の瀧平才治氏がゲスト参加。



3月9日(木):卓話「日本画の見方と楽しみ方」前田有加里氏(日本画家)、金沢都ホテルにて。

4月29日(土・祝):金沢YMCA主催「たけのこ掘り体験」(場所/北陸学院大学三小牛キャンパス竹林)に参加。



5月11日(木):卓話「私の起業体験」山下大貴重(㈱クロスマネジメント代表取締役)、ホテル金沢にて。

6月8日(木):卓話「ギデボ協会の活動」竹中文晴氏、前年度の反省と次年度の抱負について懇談。

【第二例会】通常、第4木曜19:00～21:00(4月第二例会は第2木曜)、竹中チャペル(竹中歯科医院3F)で議事中心に。

【その他の参加行事】

2月4日(土)～5日(日):東山荘で開催の第2回東西日本区交流会に平口氏参加。

3月18日(土)～19日(日):大阪コロナホテルで開催の次期会長主査研修会に北次期会長参加。

4月1日(土):北ビワコホテルグランドで開催の長浜クラブ30周年記念例会に北・澤瀬・平口・三谷3氏参加。

5月14日(土):マリカリン名古屋で開催の名古屋東海クラブ50周年記念例会に北氏参加。

5月27日(土):名古屋YMCAで開催の第3回中部評議会・次期第1回中部評議会に平口会長と北次期会長が参加。

5月28日(日):金沢市青少年団体連絡協議会主催“春のクリーンキャンペーン”に金沢YMCAと金沢クラブ・金沢犀川クラブが呼応して参加。

5月～6月:金沢YMCA主催“わいわい農園体験”(北陸学院三小牛キャンパス)に北氏が中心になって参加。

6月10日(土)～11日(日):菊池市文化会館・ホテル日航熊本で開催の第20回西日本区大会に北・澤瀬・平口3氏参加。

6月19日(月):北陸学院大学本館1階ILCで開催の金沢YMCA定期会員総会に北・澤瀬・平口3氏が参加。

*当クラブ会員5名(内1名は功労会員)は2017年内に全員70歳以上の高齢となるが、会員各自の長所・得意分野を活かして全体的に質の高い活動を展開している。しかし、個人的な諸事情により一人でも退会すれば、それまでに劇的な会員増強が果たせない限り、存続は困難な状況にある。そのことを念頭において「有終の美」を飾りたい。